

令和5年度 生徒・保護者・教職員 総合評価と考察					
番号	質 問	総合評価			考 察 S : 優れている A : 良好 B : 概ね良好 C : 取組の充実が必要 D : 課題がある
		生徒	保護者	教職員	
1	学校へ行くことが楽しい	B	*	*	全体としては肯定的な意見をもつ生徒は77.1%であり、概ね良好ではあるものの、否定的な意見も一定数見られます。新型コロナの流行で一時中止していた様々な取組みが、今年度その実施方法については見直しを図りつつも、ほぼ再開していること。その中で、とまどいや不安を感じる生徒もいたのではないかと考えています。否定的な意見があるということを念頭に、今後もさらに生徒一人一人が安心して通うことができる魅力ある学校づくりに努めます。
2	校内の設備は概ね安全に使用できると感じる。	S	S	*	生徒、保護者共に90%以上が肯定的な回答です。今後も、子どもたちが安心して生活し、学ぶことができる環境づくりに努めます。
	保護者：安全に保たれ、充実している				
3	学校行事は有意義なものになっている	S	S	S	行事の意義や目的の共通認識を図り、その時の条件の中で生徒の安全安心を最優先にした上で、持続可能な工夫ある行事運営に努めます。
	生徒：学校行事を充実させたい 保護者：学校行事は有意義なものになっている 教職員：学校行事が生徒にとって価値ある体験となっている				
4	学校で仲間と学びあうことにより、学びが深まると感じる	A	*	*	生徒一人ひとりが身につけた「学び」を、仲間と「学びあい」をすることで、より学習を深めることを目指します。
5	健康で安全な日常生活への意識	A	A	A	生徒が自らの身体について自己管理意識を高める為に、家庭と連携し、養護教諭をはじめとして、全教職員で教科及び学級指導などを通して指導を進めます。
	生徒：自分自身気を付けている 保護者：学校は子どもが安心して学校生活が遅れるよう健康と安全に配慮している 教職員：生徒が自分の健康管理を心がけるよう指導している				
6	先生はわかりやすい授業の工夫をしている	A	B	S	生徒の回答は肯定的な意見が大半を占めたものの、各教科の理解について不安をもつ意見もありました。教職員研修等を通して、今後も研究に努めます。
	生徒：先生はわかりやすい授業をしてくれている 保護者：わかりやすい授業を行っている 教職員：生徒にとって「わかる授業」の工夫を行っている				
7	学習に関する質問に丁寧に答えている	S	*	S	引き続き、質問しやすい関係づくりに努めます。また、わかりやすい説明の仕方の研修を心がけます。
	生徒：先生は丁寧に答えてくれる				
8	学習評価について	S	S	A	指導や評価方法について肯定的な回答が多く、一定の理解が得られていると考えています。今後も学習成果を適切に評価し、生徒の学ぶ意欲に繋がれるよう努めます。
	生徒：先生は学習の評価を適切にしてくれている 保護者：先生は子どもの学習成果を適切に評価している				
9	進路指導について	*	A	S	1年生から3年生まで、子どもたちが、目の前の進路にのみ注視するのではなく、その先にある進路目標に意欲をもって向かうことができるよう、系統的にキャリア教育に取り組みます。
	保護者：学校は、職業観や勤労観を培うなど、進路指導を適切に行っている 教職員：3年間を見通した系統的な進路指導を行っている				
10	教育方針や教育活動、行事の意義等適切に知らせている	*	A	*	肯定的な回答が多く、一定の理解が得られていると考えています。今後も適切な情報発信を心がけます。
11	困っている時、真剣に相談にのっている	*	S	S	生徒の心身の変化にいち早く気づき、適切な支援をするためには学校と家庭の連携協力が重要です。今後も引き続き、適切に保護者に情報を提供し、相談しやすい体制を整えます。
	保護者：生徒や保護者が困っている時真剣に相談にのってくれている 教職員：素早く相談にのっている				

令和5年度 生徒・保護者・教職員 総合評価と考察					
番号	質 問	総合評価			考 察 S : 優れている A : 良好 B : 概ね良好 C : 取組の充実が必要 D : 課題がある
		生徒	保護者	教職員	
12	先生は生徒をよく理解している	A	A	S	今後も教育相談等の機会をとらえ、生徒一人ひとりの変化にいち早く気づき、適切な声かけができるよう努めます。
	生徒:先生はあなたのことをよく理解してくれている 保護者:先生は、子どものことをよく理解してくれている 教職員:生徒一人ひとりを理解し、大切にした教育活動を行っている				
13	いじめのない学校づくり	A	A	S	いじめアンケート調査のみに頼らず、日頃の生徒との関わりを大切にし、いじめが起こらない環境づくりに努めます。
	生徒:先生はいじめのない学校にしようと努力してくれている 保護者:先生はいじめのない学校づくりに努力している 教職員:暴力やいじめのない学校、学級づくりに努めている				
14	先生は教え方を工夫している	A	B	S	今後も学び続ける教職員の姿勢を大切に、「学びあえる」環境をつくり、生徒が「授業が楽しい」と思うことができる授業づくりに努めます。
	保護者:先生はわかりやすい授業をおこなっている 教職員:生徒にとって「わかる授業」の工夫をしている				
15	清掃活動への取組について	A	*	A	学習環境を自分たちで整える意識をもち清掃活動に取り組むことができるよう、今後も取組みを継続します。
	生徒:しっかりと清掃活動に取り組んでいる 教職員:生徒の清掃活動を適切に指導している				
16	ホームページや各種通信等で、学校や子どもの様子をよく伝えている	*	A	A	学校の状況を保護者や地域に広く伝えることができる手段として、ホームページや通信等を活用し、今後も積極的に情報発信していきます。
	保護者:学校はホームページや各種通信等で、学校や子どもの様子をよく伝えている 教職員:学校の情報を適切に発信している				
17	周りの大人に守られていると感じる	A	*	*	子どもたちが学校、家庭、地域の中で安心して生活することができているか。アンケート結果では良好な数字を示しました。今後も連携体制を構築し、子どもたちが安心して過ごすことができるよう取り組みます。
	生徒:周りの大人に見守られていると感じる				
18	自分の住む地域をみんなが住みやすい地域にしたいと思う	A	*	*	子どもたちに、自分自身が今住んでいる地域の一員であることの意識が浸透しているようです。現在、学校運営協議会や地域学校協働活動が広がっていく中で、一層子どもたちの良い意味での所属意識が深まっていくことを願っています。
19	学校のきまりや社会のマナーについて	A	B	S	社会のマナーや集団のルールを意識し、生活している様子が伺えます。集団で生活する上で「今あるルール」を守ることの大切さを伝え続けると共に、学校内だけのルールそのものについては、検討を続けます。
	生徒:自分は学校のきまりやマナーを守って生活している 保護者:清中生は学校のきまりや社会のマナーを守って生活している 教職員:社会のルールやマナーが身に付くよう指導している				
20	災害や不審者に対する備えについて	S	*	S	毎年、敷地内の安全点検を行い、危機管理について見直しを図っています。また、全校生対象の避難訓練等に加え、教職員対象の防災訓練、不審者対応訓練も実施しています。今後も危機管理についてアンテナを高くし、生徒にも徹底していきます。
	生徒:毎日安全に登下校するよう心がけている 教職員:災害時や緊急時の避難行動について適切に指導している				
21	学校のためにできることがあれば協力したい	B	*	*	自分自身が所属する組織の中で、積極的に活動に参加する意識を醸成したいと考えています。

令和5年度 生徒・保護者・教職員 総合評価と考察					
番号	質 問	総合評価			考 察 S : 優れている A : 良好 B : 概ね良好 C : 取組の充実が必要 D : 課題がある
		生徒	保護者	教職員	
22	地域のためにできることがあれば協力したい	B	*	*	自分自身が所属する組織の中で、積極的に活動に参加する意識を醸成したいと考えています。
23	子どもの健やかな成長のため、学校、家庭、地域が連携することは有効である	*	S	S	子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、家庭、地域、学校それぞれが抱える課題は複雑化しています。それぞれがそれぞれで考えるだけではなく、目標を共有し、共に取り組んでいくことが必要ではないかと考えています。
24	学校は学校運営協議会の取組を通して、子どものより良い学習環境づくりに努めている	*	A	S	学校運営協議会2年目。学校運営についての協議、そして活動が少しずつ進んでいます。
	教職員：学校運営協議会は家庭、地域と連携する機能を果たしている				
※	今、住んでいる地域行事への参加	D	*	*	子どもたちが自分たちの生活している地域行事にどのくらい参加しているのかを把握するために、アンケートに協力してもらいました。アンケート結果からは現在参加している人数は少ないようですが、今年度は生徒の代表が、クリーンアップ活動や地域文化祭での司会、吹奏楽部の演奏等で参加をし、地域の方々との交流を深めました。また、それぞれの地域のお祭り等には、子どもたちが足を運んでいる様子でした。
	生徒：地域行事に参加している				
※	放課後、学校内に部活動以外の過ごし方（自習空間やイベント等）があれば、ぜひ参加してみたい	D	B	*	部活動に所属していない生徒、引退した3年生等の放課後の時間の使い方を学校運営協議会で協議しています。学級終了後下校するまでの間の少しほっとできる時間として、検討していきます。※学校運営協議会主催の放課後図書室開放が2学期末から始まりました。自習や読書、友達との学びあいの様子が見られています。
	保護者：ぜひ参加させたい				

※印は、評価としてではなく、実態調査、意識調査として協力いただいた項目です。